

*本リリースは2017年9月8日にフランスで発信された報道資料の翻訳です。

グループ PSA はいかなる不正行為も否定し 技術的な根拠に基づく選択であることを改めて強調

9月8日の仏メディア報道に対し、グループ PSA は司法当局からの問い合わせを受けていないことを表明します。グループ PSA はこれまで、DGCCRF（仏・競争 消費者問題 詐欺防止総局）より検察当局へ提出された資料を一切入手することができず、それゆえ議論が不可能であったにもかかわらず、このたび当該情報が第三者の手に渡った事態に対し遺憾の意を示します。

グループ PSA はこれまでに幾度も、エンジン制御の戦略について説明を繰り返してきました。同戦略は、実生活におけるお客様の走行パターンに基づいて策定されたものです。つまり、都市部での重点的に窒素酸化物（NOx）の排出を低減する一方で、郊外路の走行においてはNOxとCO₂の最適な排出バランスを実現するべく設計されています。

このたびの騒動は、グループ PSA への評価と、その21万人の従業員の利益、そしてそのお客様、提携企業の利益を不当に損ねるものです。本件についてグループ PSA は守秘義務違反として告訴する権利、および公的機関の機密保持義務を要求する権利を留保します。

グループ PSA は以下の点について、ここに改めて確認します。

- グループ PSA は、事業を展開している全ての国の規制を遵守しています。適合試験を察知して汚染物質排出を抑制する一方で、実走行中には排ガス処理装置を停止する類の不正ソフトウェア、または装置は搭載していません。
- グループ PSA は、生産車両の実走行下での燃費とCO₂排出の情報を完全な透明性をもって公開している、世界唯一の自動車メーカーです。同様の情報公開は2017年末までにNOx排出量にも範囲拡大します。60モデル（欧州販売の80%に相当）に及ぶ400もの測定結果は、グループ PSA が展開している各ブランド公式サイトでも公表しています。

Groupe PSA

グループ PSA は、大切な顧客の期待に沿うべく、ユニークなモビリティ体験とソリューションを提供しています。プジョー、シトロエン、DS、オベル、そしてヴォクスホールの5ブランドを展開しており、またFree2Moveと呼ぶ幅広いモビリティサービス、スマートフォンサービスを通じ、顧客に選ばれる人気の高い自動車メーカーを目指しています。自律走行やコネクテッドカーの技術分野も切り拓いており、またPSAファイナンス銀行を通じての資金調達や、フォルシアによる車両装備事業にも注力しています。（より詳しい情報に関しては、groupe-psa.com/en を参照）